

都市再生整備計画

よこた しもよこた
横田・下横田地区

しまね おくいずもちょう
島根県 奥出雲町

令和7年4月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークابل推進事業	□

都道府県名	島根県	市町村名	奥出雲町	地区名	横田・下横田地区	面積	10.7	ha
計画期間	令和7年度	～	令和9年度	交付期間	令和7年度	～	令和9年度	

目標
大目標・観光・教育・交流による地域の活性化 【目標の方向性】 目標1:地域資源を活用した観光振興・交流人口の拡大 目標2:地域コミュニティの活性化・賑わい創出
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 横田・下横田地区(以下、「当地区」という。)は、広域連携軸の国道314号及び鉄道沿線に位置し、都市機能等を共有する一帯の地区である。当地区は、商業・業務施設が集積する横田地区と、ゆとりある住まい方のニーズから居住が微増する下横田地区で構成される。国道314号沿線での大型商業施設の集中立地以降、横田地区ではまちなかの中心部である駅前通りにおいて集客力が低下し、空き店舗増加や魅力低下が課題となっている。下横田地区では、少子化に伴う、幼児園や学校の廃園・廃校により地域コミュニティの喪失が危惧されるなど、コミュニティ低下が課題となっている。 横田地区では駅前通りの観光資源の再整備により魅力化を図るとともに、下横田地区では幼児園跡地活用による交流拠点を整備し、その相乗効果によって広域連携軸を活かした交流人口拡大を図ることで、当地区の活性化を目指す。
まちづくりの経緯及び現況
【歴史的経緯】 本町は平成17年にに多郡に多町、横田町の新設合併により発足した。中国山地の連なる中山間地域にあり、町域の中央を流れる一級河川斐伊川とその支流の流域に農地が開けた経緯から、各地域に多くの集落が古くより散在している。そのため、人口の約6割は都市計画区域外に分布し、各地域において第1次産業を基幹産業として、文化・コミュニティの形成が図られた。また、本町のたたら製鉄を起源とする伝統的な資源循環型農業は、農林畜産業を有機的に結び付けた農業システムの重要性が認められ、平成31年2月15日に中国地方初である「日本農業遺産」の認定を受けるに至った。一方で、農業就業者の減少や高齢化、米価の低下等により、第1次産業の生産額は全産業の約1割に低下しており、産業別において第1次産業は大きく後退し、本町においても産業の高次化による産業構造の変化が生じている。
【まちづくりの現況】 人口減少の克服・地方創生に対応するため、令和5年6月に「第2次奥出雲町総合計画及び奥出雲町デジタル田園都市構想総合戦略」を改定し、「子育て・教育の充実と奥出雲を担う人づくり」「活力ある産業の振興」「安心して暮らせる生活基盤の確保とまちづくり」「奥出雲の暮らしが幸せだと実感できる生活環境づくり」を目指すものとしている。小学校配置について、町内10校の半数が複式学級を有する小規模校。1校が極小規模校となったことを受け、町全域を対象とした小学校再編方針が決定し、旧町の中心地区である三成地区及び横田地区における小学校にて地域児童を受け入れるため、小学校再編事業による小学校整備を進めている。小学校が新設配置される当地区は、「奥出雲町立地適正化計画」における誘導区域内に位置し、小学校再編を契機とした中心市街地の再生を目指すため、生活に必要な都市機能の維持・誘導による生活利便性の向上とまちなか居住を推進する。なお、ハード整備に向けては、既存ストックを有効活用するとともに、老朽化した公共施設再編によって面的整備を推進する中心市街地再開発事業の検討を進めるものとしている。
【地区の現状】 当地区を構成する横田地区は、旧町の中心市街地として合併以前から都市下水路、公共下水道の整備、街並み環境整備事業によるポケットパーク、せせらぎ水路、細街路整備等の都市計画事業が進められ、定住促進が図られてきた。また、横田中心市街地は本町を代表する商業業務地を形成するほか、社殿風の木造駅舎として1934年当時の状況が現在も保存・維持されているJR出雲横田駅や雲州そろばん伝統産業会館、旧街道として歴史ある横田本町通り等の観光資源が集中している地区である。 下横田地区は、当地区を南北に縦断する国道314号によって横田中心市街地と約3.5kmの距離で連絡し、近年、良好な住環境の形成から居住が微増傾向にある地区である。都市計画区域マスタープランにおいて、国道314号沿線に立地する特性を生かし、中心市街地と適切な連携を図ることにより一層の活発化を図る地区として位置付けられている。
課題
JR出雲横田駅周辺には観光資源が集中しているものの、集客・観光案内等の機能が十分ではなく、観光による経済波及効果の機会を活かしきれていない。駅前通りの観光資源の再生を図り、来訪者が歩いて楽しい観光のまちづくりを推進する必要がある。 また、幼児園や小学校等の跡地については、地域コミュニティ維持の観点及び広域連携軸を活用した中心市街地との連携による観光振興の観点から、有効な跡地利用を図る必要がある。
将来ビジョン(中長期)
【奥出雲町脱炭素宣言(令和5年6月決定)】 1)奥出雲町における脱炭素社会の実現を目指す取組み(例示) ○自然と共生した資源循環型の林業振興(保全、整備、木材利用の促進) ○SDGs未来都市の選定 ○環境教育(木育)の推進(幼少期からSDGsへの理解と促進) ○町有林 J-クレジット制度の導入 (J-クレジット制度…省エネや再生可能エネルギーの利用、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を、「クレジット」として国が認証する制度。 本町では、町内の森林によるCO2吸収量を「クレジット」として販売することを目指す)
都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
都市機能配置の考え方
【交流人口の拡大による市街地再活性化の促進】 ・「雲州そろばん伝統産業会館」は、雲州そろばんの産地として栄えた奥出雲町を象徴する観光施設であるが、施設の老朽化等により来館者数が低迷している。他方、JR出雲横田駅に隣接する好立地にあることから、来館者の満足度の向上及び機能性向上の観点から当該施設を再整備し、観光案内・観光交流機能等を付与するとともに、入館料を無償化し誰もが気軽に利用できる開かれた施設として、町内観光周遊の起点を創出し、駅前通りの魅力化を図る。 ・少子化に伴い廃園となる八川幼児園の跡地については、国道314号沿線に立地し、横田中心市街地と近接しているアクセス性の良さを活かし、賑わいの創出による地域コミュニティの活力維持の観点及び交流人口の拡大による横田中心市街地再活性化の観点から、町内外から来訪者を呼び込み本地区の一体的な活性化を図る多世代交流の場として再整備する。また、当該施設跡地が木造園舎であることを活かし、木をテーマとした、多様な交流を促進する仕掛けづくりを図る。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等 ・小学校再編事業(横田小学校 増改築) ・横田本町通り再生事業(空き家空き店舗改修補助)							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
雲州そろばん伝統産業会館入館者数	人／年	雲州そろばん伝統産業会館の入館者(入場者)数	【目標1】に対応:観光案内、ものづくり教室の開催等により交流人口、町のにぎわい創出を促進する	770人／年	R5年度	1000人／年	R9年度
木の交流施設(仮称)入館者数	人／年	木の交流施設(仮称)の入館者(入場者)数	【目標2】に対応:地域の施設活用により地域交流を促し、地域コミュニティの維持・にぎわいの創出を図る	—	—	1500人／年	R9年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【目標1:地域資源を活用した観光振興・交流人口の拡大】 ・雲州そろばん伝統産業会館を再整備し、観光案内・観光交流機能を付与するとともに入館料を無償化し、町内観光周遊の起点の創出、駅前通りの魅力化を図る。 ・幼児園跡地を活用して木の交流施設(仮称)を整備し、地域活性化及び本町の新たな交流拠点を創出する。	【基幹事業】 ・既存建築物活用(高次都市 観光交流センター):雲州そろばん伝統産業会館改修事業 ・既存建築物活用(高次都市 地域交流センター):木の交流施設整備事業 【関連事業】 ・小学校再編事業(横田小学校 増改築) ・奥出雲町空き家バンク制度 ・奥出雲町住宅整備支援事業補助金 ・本町通り再生整備事業(横田相愛教会の保存・活用) ・本町通り再生整備事業(空き家空き店舗改修補助) ・サテライトオフィス等整備事業 ・横田文化創造交流センター整備事業
【目標2:地域コミュニティの活性化・賑わい創出】 ・幼児園跡地を活用して木の交流施設(仮称)を整備し、地域活性化及び本町の新たな交流拠点を創出する。	【基幹事業】 ・既存建築物活用(高次都市 地域交流センター):木の交流施設整備事業 【関連事業】 ・小学校再編事業(横田小学校 増改築)
その他	
低未利用地の活用に関する取り組み ・奥出雲町空き家バンク制度 平成24年(2012年)～令和3年(2021年)までの10年間で117件の契約が成立。(累計空き家登録数178件に対する累計契約成立件数117件 契約成立率65.7%) ・奥出雲町住宅整備支援事業補助金 これから奥出雲町で暮らす40歳以下の若者や子育て世帯の移住・定住を図るため、町内在住者やU・Iターンで定住される方を対象に新築・増改築改修等の経費の一部を補助(令和5年の活用実績 全活用件数:14件、うち居住誘導区域内活用件数:5件) ・本町通り再生整備事業(空き家空き店舗改修補助).....横田本町通り周辺は本町会館(旧山陰合同銀行横田支店)や横田相愛教会など歴史的・文化的にも貴重な建物が残っている。しかしながら、これら資産を活用した取組がされておらず、近年は空き家・空き店舗が増加している。そこで、これら空き家・空き店舗の所有者・購入者を対象とした補助制度を創設し、活用を促進することで、街並み景観の保存を図るとともに、移住・定住の促進及び空き店舗を活用した起業・創業及び企業誘致促進を目指す ・サテライトオフィス等整備事業.....横田地区の市街地内にあり、商業地域の中心にある旧ごうぎん横田支店跡を活用し、町内外の企業が入居できるサテライトオフィスの整備を行う。また、サテライトオフィスの整備にあわせ、町内の中高生や子育て世代の保護者等が自由に使用できるコワーキングスペースや交流スペースを併設する	
官民協働によるまちづくりの取り組み 【学校再編統合推進委員会】 ・統合小学校の在り方について保護者・地域・学校代表者が部会ごとに協議を行い、校名、校章、校歌、通学方法、学校のきまり、PTA 組織など多方面の内容を検討	
【地域づくりアクション発表会(令和4年2月)】 ・小さな拠点づくりを中心に地域づくりに取組んでいる各地区の取組みや実践活動の報告、来期以降にチャレンジすることなど地域づくりにつながるアクションの発表 等	
【おくいずも未来会議(令和5年12月)】 ・おくいずもの未来をつくるシティブロモーション事業 ブランドメッセージ・プロジェクト。官民連携により、奥出雲の魅力が伝わる未来に向けての「ブランドメッセージ」等を検討	
【まちづくり座談会(令和5年12月・令和6年1月)】 ・奥出雲町立地適正化計画の策定にあたって、これからの中心拠点を担う三成地区及び横田地区の中心市街地のまちづくりに焦点を当てた意見交換会を開催	
【まちなか再生 未来に向けたまちづくり(令和6年7月21日)】 ・奥出雲町立地適正化計画の策定にあたって、「コンパクトなまちづくり」の方向性を共有し、共に考えていくためのシンポジウムを開催	

交付対象事業費	255.0	交付限度額	114.7	国費率	0.45
---------	-------	-------	-------	-----	------

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費			交付対象 事業費	費用便益比 B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設															
高質空間形成施設															
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	賑わい・交流創出施設														
	子育て世代活動支援センター														
誘導施設	複合交通センター														
	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
元地の管理の適正化															
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業 高次都市施設 観光交流センター		雲州そろばん伝統産業会館改修	奥出雲町	直	341㎡	R7	R8	R7	R8	150.0	150.0	150.0	0.0	150.0	—
高次都市施設 地域交流センター		木の交流施設	奥出雲町	直	479㎡	R8	R9	R8	R9	105.0	105.0	105.0	0.0	105.0	—
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
こどもまんなかまちづくり事業															
合計										255.0	255.0	255.0	0.0	255.0	

都市再生整備計画全体の
B/Cを算出する場合、記入

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費			交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造														
支援事業														
事業活用														
調査														
まちづくり活動推進 事業														
合計										0.0	0.0	0.0	0.0	0.0…B

居住誘導促進事業

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
居住誘導促進事業													
合計									0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
											合計(A+B+C)	255.0	…C

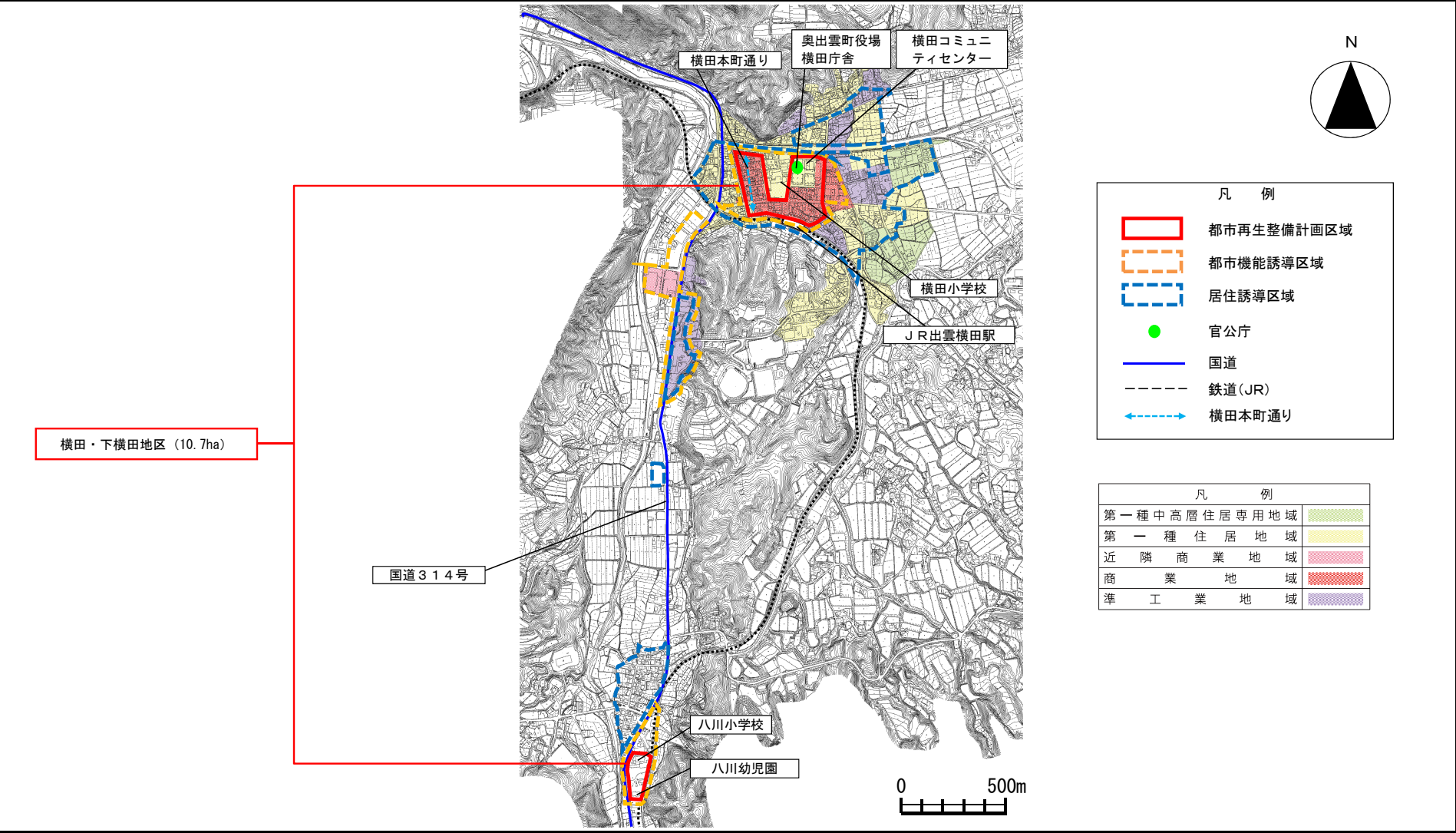
(参考)都市構造再編集中支援関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
					/	/	/	/			
					/	/	/	/			
合計					/	/	/	/			0

(参考)関連事業

[illegible]

横田・下横田地区(島根県奥出雲町)	面積	10.7	ha	区域	奥出雲町横田、奥出雲町下横田
-------------------	----	------	----	----	----------------



横田・下横田地区(島根県奥出雲町) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標: 観光・教育・交流による地域の活性化 【目標の方向性】 目標1: 地域資源を活用した観光振興・交流人口の拡大 目標2: 地域コミュニティの活性化・賑わい創出	代表的な指標	雲州そろばん伝統産業会館入館者数 (人/年)	770人/年	(R5年度)	→	1000人/年	(R9年度)
			木の交流施設(仮称)入館者数 (人/年)	—	(—)	→	1500人/年	(R9年度)

